# 青果物流通標準化検討会 コード・情報分科会 発表資料

2023/02/02 株式会社SenSprout



①青果市場営業担当者のための営業管理システム「Agri DX」について

②株式会社kikitoriの「nimaru」「nimaruJA」と「Agri DX」との連携の取組について

①青果市場営業担当者のための営業管理システム「Agri DX」について

②株式会社kikitoriの「nimaru」「nimaruJA」と「Agri DX」との連携の取組について

#### 青果市場の問題と解決策について

#### ■問題

- 1利益最大化のために買人ごとの利益管理や適切な値付けが難しい
- 2 部署ごと・チームごと・営業個人に即時の日次売上・利益管理が出来ていない
- 3 営業業務において、伝票や帳簿など大量の紙での処理が必要

#### ■解決策

- 1荷受け毎ではなく買人毎に利益管理を行い、将来的には過去データより買人のリコメンドや適切な値付けをアシストできるよう
- 2 部署ごと・チームごと・営業個人に即時の日次売上・利益管理を行える
- 3 クラウド上にて数値管理を行い、必要部分は紙でのアウトプットを行える



紙管理からの開放だけでなく、 利益の最大化のための営業管理ツール



#### AgriDXについて



産地からの入荷情報登録から、営業 担当者の分荷作業、価格形成、上長 への承認依頼、承認作業をすべて Web画面上で行うことが出来ます。 さらに、分荷指示書・販売原票・送 り状などのプリントアウトも可能で す。

なお、将来的には青果市場が利用する基幹システムとのデータ連携ができるようにいたします。

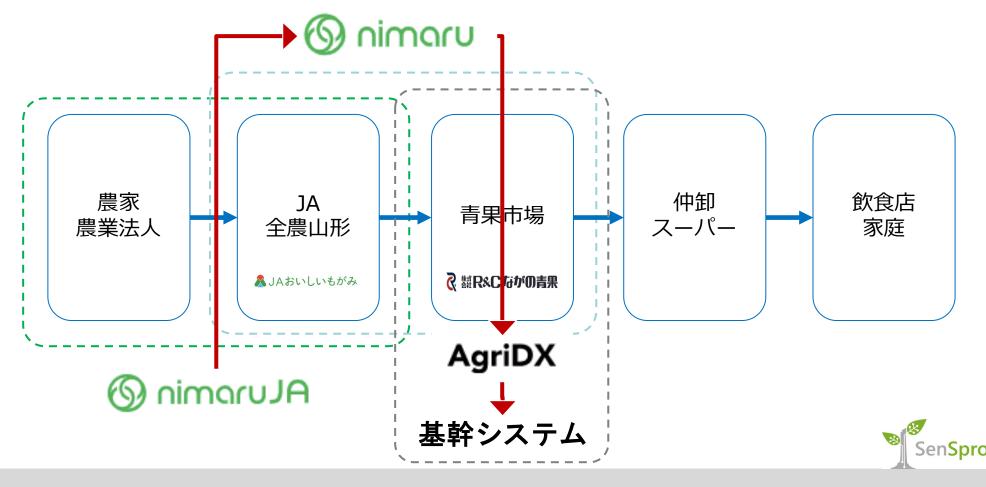


① 青果市場営業担当者のための営業管理システム「Agri DX」について

②株式会社kikitoriの「nimaru」「nimaruJA」と「Agri DX」との連携の取組について

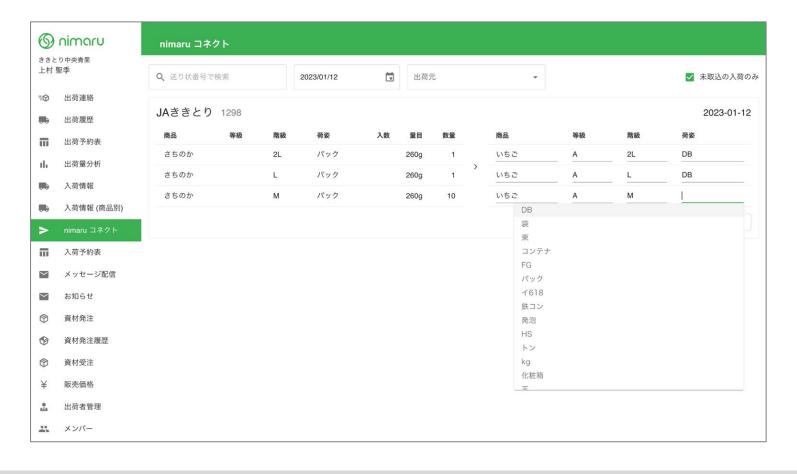
# 「nimaruJA」×「nimaru」×「AgriDX」の連携について

JAおいしいもがみにて利用している「nimaruJA」から「nimaru」へデータを流し、APIを利用して「AgriDX」との連携を行いR&Cながの青果の上田本社にてテストを行ってまいります。



### 「nimaru」にて独自品目コードのデータ変換を実施

「nimaru」にてJAおいしいもがみの独自品目コード・品目名・等階級を、R&Cながの青果の独自品目コード・品目名・等階級へ変換する機能を利用させていただきたいと思います。





# 「nimaru」から「AgriDX」へ取り込むデータについて

青果物流通標準化ガイドライン骨子における標準化項目を「nimaru」から「AgriDX」へAPIを利用して取り込む予定です。

#### コード・情報

番号	項目	内容
1	納品伝票の	
	電子化	<ul><li>① 送り状</li></ul>
		② 売買仕切書
		を優先する。
		・ 紙や電話、FAX などの手段ではなく、デジタル処理で業務が完結することを目指す。
		・ 帳票の電子化や帳票に QR コード等を記載することにより、検品等の業務の負荷の軽減を図る。
		・ 送り状については、
		① 出荷年月日
		② 送り状ナンバー
		③ 市場コード
		④ 卸売業者名
		⑤ 品名コード
		⑥ 品名
		⑦ 出荷者コード(JAコード)
		⑧ 出荷者名
		9 荷姿
		⑩ 量目
		<ul><li>事階級</li></ul>
		<ul><li>② 数量</li></ul>
		③ 輸送手段
		<ul><li>④ 輸送会社</li></ul>
		を伝達すべき標準項目の基本とし、引き続き実態把握を行い、検討を続ける。



① 青果市場営業担当者のための営業管理システム「Agri DX」について

②株式会社kikitoriの「nimaru」「nimaruJA」と「Agri DX」との連携の取組について

# DEMOデータ

- ユーザーテスト営業(部署コード99ユーザーコード9998)テスト上長(部署コード9 ユーザーコード9999)
- ・荷主 テスト用荷主(1111111)
- 品目 早生温州みかん(40400)
- 買人 デモDEMO買人A (111111) デモDEMO買人B (111112) デモDEMO買人C (111113)

